

蒲田東地区管内	
人口	男 23,611名
	女 22,043名
	計 45,654名
世帯数	28,053世帯
平成30年7月1日現在	



★発行
地域力推進
蒲田東地区委員会

★編集
地域情報紙「かまた東」
編集委員会

★事務局
蒲田東特別出張所
蒲田本町2-1-1
TEL (5713)2001

会員が主役 南蒲田二丁目町内会

町会に若い人が入ってくれない、役員が高齢化している、と悩んでいる会長さんは多いのではないのでしょうか。

今回は、町会独自で運動会を行った、若い人が参加しやすい活動をしている南蒲田二丁目町内会の副会長 田中宏明さんに、秘訣の一端をお伺いしました。

班長感謝のつどい

班長の仕事は、会費、募金の集金、回覧や交通安全運動の当番など多岐にわたり、活動の根幹です。

最近では、高齢化や多忙により辞退したり、同じ人が続けて務めるなど、ローテーションが難しくなっているようです。



班長感謝のつどい

サポーター制度

若い人が参加してくれないというのは、自治会活動での共通の悩みです。ところが、若い人から見ると仕事があり、自治会活動を行おうとしても時間が取れないということではないのでしょうか。それを解決するのが、サポーター制度です。町内会では、お祭り、運動会、餅つき、資源回収などをこなしていますが、一

つくりならできるといって人に声をかけて、やることを明確にし、ハードルを低くして活動してもらっています。

平成二十八年に東京都から先進的な防災活動をしている自治会として防災隣組の認定を受けています。

考える防災訓練

防災訓練がユニークです。区域内にある四箇所の公園では、それぞれ別メニューで訓練をしています。訓練内容は、サポーターなど協力できる人が決め、役員は活動しやすい環境をつくるのです。会場に着くと、「受付」「消火器持出」「D級ポンプ操作」などの役割を書いたカードを渡されます。渡された人は、指示された仕事を行うことになるのです。これで、言われたことだけを行うのではなく、自分で考えるようになり、何回か参加するうちに、いろいろなことができるようになります。このように訓練をするきっかけとなったのが東日本大震災です。同じ場所に全員が集まるのではうまくいかないという教訓が活かされています。町内会は、

地域の絆は心から

永く役員を務めていると、経験が豊富なので、どうしてもあれこれ指示しがちになります。これがネックになることもあるのですが、町内会では、新しい役員やサポーターから意見が出たら、逆に役員がサポートにまわるのです。うまくいくようにみんなで協力するのです。それで失敗しても、なぜ失敗したかがわかるので、それも良しなのです。否定ではなく、まず認める。カウンセリングの基本を実践しているのです。

町内会では、役員が意見を出し合いみんなで協力すること。明るく前向きなつながりで、心を一つにして地域の絆を作っていくことを基本理念としてこれまでやってきました。その志があったからこそ、感謝の集いやサポーター制度が生まれてきたのだと思います。

指示カード 先ずはご自分の受付を済ませましょう！

消火器持出

このカードを渡された方は
消火器の持出をお願いします(3~4名)

・街頭消火器設置場所の地図をもとに、近くの消火器を避難場所に持ってきて下さい
※地図は裏面にあります！

指示カード

蒲田本町二丁目町会
編集委員 阿部慶一



地域活動に参加して

東蒲田一丁目自治会

山崎 隆

私は東蒲田一丁目に生まれて今年で六十五年になります。平成二十五年に定年になります。そして、趣味の海釣り以外は自宅でのんびり過ごしております。そんな折に当町会の役員さんより町会参加を勧められました。

祭礼、盆踊り等の手伝いを通じて地元の温かい人情にふれました。又、幅広い年齢層の方々が奉仕し、協力している姿に感激しました。しばらくして町会の総会があり、気がついたら役員になってしまいました。

今後とも元気で地域活動に協力できる様に、大田区がモットーとしている地域力推進の一端を担えればと思っております。

昨年五月より東蒲田小学校の見守りパトロール隊として毎朝の登校日にスクールゾーンに立っております。東蒲小は来年六十周年になるそうです。私も五十九年前に東蒲小に入学しました。あの頃の逞しい

小学生のように育ってくれるようお願い大きな声で挨拶しています。

これからも町会・シニアクラブ・見守りパトロール隊を通じて安全・安心で住みやすい町づくりに協力したいと思います。

交通安全 子供の目

蒲田五丁目南町会

森澤 友博

「赤信号は渡ってはいけませんよ」、「青になっても、直ぐに渡らず、左右の確認をし、手を挙げて渡ってね」と子供に注意すると、逆に言われて困っていることがあります。

それは、横断歩道を赤信号で渡る方たちのことです。交通量が少ない場所では、急いでおられる方たちは渡ってしまします。渡る方にも理由があるとは思いますが、せめて子供がいる時だけでも、立ち止まって頂けると助かります。子供は正直なので「ねえあのおじさん、赤なのに渡っていったよ」と言われてしまいます。私が遅刻しそうな時にも、赤信号を渡って行く方を見て

「パパ、あのおじさんみたいにパパも渡ったら」と言われ困ります。

「遅刻になったとしても赤信号は渡っちゃいけないね、遅刻をしようような時間に家を出たパパが悪いので青に変わるまで待たなくちゃね。」と言いつけています。子供が成人するまでに、このような事を言わなくても良い世界になっていければ良いと思ううパパでした。

6年3組 同窓会

蒲田東口町会

小幡 芳雄

大阪に行った友人が蒲田に帰って来て、いつも五人で集まる男子会をやるうと連絡があった。

出版社を退職した友人が七十歳を前にして同窓会を提案し名簿作り・連絡係を申し出て、郵便局を退職した友人と二人で幹事をする事になった。前回幹事の女性に連絡を取ってもらうと全員参加となり、故郷の蒲田に皆が帰って来る事になった。

当日は皆でそれぞれに残った思い出や担任の先生の話に花が咲き、六年間一度もクラス替えの無かった六年三組の全員が朝礼で歌った、蒲田小学校の校歌「雲に秀ずる富士の峰、稗田の宮の神の森、か

し、わが蒲田」を大合唱し楽しい時間を過ごした。

二次会でも歌を歌ったり、思い出話をしたり時間がたつのを忘れる程盛り上がった。それぞれが蒲田の思い出を懐かしんだ一日だった。

蒲田で育って良かった。古き良き蒲田の友に会えたことに感謝したい。

合同防災訓練に参加して

蒲田二丁目自治会

服部 孝介

五月二十七日(日曜日)、蒲田七町会合同防災訓練が蒲田小学校の校庭で開催されました。当町会は当日、一時避難場所として指定されている蒲田二丁目児童公園に午前八時四十分に集合し、参加人数を確認し、訓練の内容を把握してから、当町会の避難場所として指定されている北蒲(ほっぼ)広場を通って会場

の蒲田小学校に向かいました。会場では、参加者ひとりひとり、煙体験、一一九番通報訓練、初期消火訓練、起震車で地震を模擬体験しました。また、この訓練にはじめて参加した方々は、AED操作訓練、スタンドパイプ操作訓練、応急処置の講習を受け、非常に有意義な体験をしました。また、蒲田二丁目児童公園に設置されている「かまどベンチ」を使用した炊き出し訓練を、防災訓練にあわせて行いました。この訓練は、毎年二、三回程度行っているもので、災害時の生活を支えるものとして有効です。



かまどベンチで火起こし

これからもいろいろな災害に備え、訓練を実施していきたいと考えています。

大田区にもあった 西郷どん

蒲田本町二丁目町会

阿部 慶一

現在、NHK大河ドラマ「西郷どん」が放送されています。

西郷とともに江戸幕府の無血開城に尽力した勝海舟の墓が、洗足池近くにあります。

ここには、西郷隆盛が島流しになった時に詠んだ「留魂詩」の碑もあります。勝海舟が私費を投じて作ったものです。敵味方だった二人は真の友になったのです。

「留魂詩」は、西郷の人生観が表れています。「人生の



「西郷勝両雄会見之处」の碑

浮き沈みは予想できない。しかしながら、葵の花は日が照らず曇っているときでも常に太陽に顔を向けている。このまま南の島でこの身が朽ち果てるとしても、魂は、この世に留まって、皇城(天朝)を守護したい。」が要約です。「江戸開城会見の地」として田町駅近くの三菱自動車前に碑がありますが、池上本門寺境内にある庭園の松濠園でも二人が会見を行ったことを示す、西郷従徳(西郷隆盛の甥)の筆による碑「西郷勝両雄会見之处」が庭園内にあります。西郷と大田区は深い関係があったんですね。大田区では、来年夏の開館を目指して仮称「勝海舟記念館」の建設を進めています。あなたも、足を延ばしてみませんか。

「さむい」夏の再会、ルーツに触れる...

東蒲田一丁目町会

石橋 幸子

【ルーツについて知るため、

母の生まれ育った日本に行きます」と、海外に住む「いとこ」から連絡が届いた。「いとこ」は日本で生まれ、三歳の時に海外に転居して以来の来日。「いとこ」の母親と主人の母が姉妹なので遠く離れていても電話や手紙などの交流は途切れることなく続き、十五年前に妹に会うために義母と訪問した時以来の懐かしく嬉しい再会でした。初日、古い写真を見ながらの思い出話は尽きることなく深夜まで続き、翌日は母達の生まれ育った千葉県九十九里を訪ね歩くことにしました。その地を巡ることで母親や自分達のルーツに触れられると思い、母親たちの生家に続き、子供の頃通った学校へ訪問した際は校長先生から話を聞くことが出来「いとこ」はとても嬉しそう。私達は、九十九里に一泊し、翌朝は母親が子供の頃遊んだであろう砂浜を散策し、九十九里海岸の砂を踏み締め、この感覚この瞬間(とき)を皆の心に刻んだ。

本当に良かった、有って良かった

南蒲田一丁目自治会

佐藤 和男

昨今の凶悪化する犯罪、巨大化する自然災害。何時か必ず来る地震災害。取り巻く環境は厳しさを増すばかり。わ

が町はわが町で守るのが当たり前になっていきます。防犯の意味も込めわが町では抑止力に優れた防犯カメラの設置を立ち上げ、私が主担当に指名されて以来、二年越しで平成三十年三月稼働の運びに至りました。

当初ひつたりや放火などの犯罪抑止に威力を発揮すると期待していたのですが、商店街で重大交通事故が発生し約八時間通行止めになりました。警察の要請を受け防犯カメラの映像を提供、想定以上に鮮明に映っているとの報告が有りました。

早速防犯カメラがわが町でも役に立ち幸いの思いです。今後も蒲田東の町が安心安全で有りますようお願いばかりです。有って良かった、本当に良かった。

東蒲田二丁目町会

奈良部 晃一

その馬、たまたまお替りか?

「駕籠(かご)に乗る人、担(か)つぐ人、そのまた草鞋(わらじ)を作る人」。この言葉は凡そ世の中の人と人との繋りや、その仕組や役割などを表すのに使われるようです。私が町会のお手伝いを始めてかなりの月日が経ちますが、

さまざまな行事の最中に冒頭の言葉をふと思い浮かぶことがあります。それは参加する人の形態(乗る人と担ぐ人)がいつも同じで配役の変更はまずありません。

適材適所と云いますが、行事の企画・準備実行に当たっては、特定の適材(担ぐ人)が適所に配置され、見事に催しを推進していきます。片や乗る人達もさすがです。「お世話様、ご苦勞様、どうもありがとう」などと労いの言葉と笑顔で応え、担ぎ手を励まします。折々のこんな行事の繰り返しにより、ある日偶然道で行き会っても「おはよう、今日は、先日はどうも」と自然な挨拶が交わされます。たとえ相手の名前が分らなくても、あの時のあの人という認識があればエールの交換は成立です。実はこの事が私たち地域の安全、安心諸施策の検討や運営に極めて有効な要素となります。私はこれを「地域力の原点」だと思っています。

これから先も、この町では時々駕籠を担ぐ機会があります。「あなた、たまにはこれを担いでみませんか?」「今度はこちらに乗ってみませんか?」「ワイワイガヤガヤ、エッサ・ホイサと賑やかに「地域力」を育てていきましょう。」

蒲田三丁目の安心・安全・そして夢

蒲田三丁目町会

山崎 礼子

蒲田三丁目ひろば児童公園を守る「はつらつ会」がある。近隣の方6名の方達が年間として朝夕の門の開閉・点検・時には「危ないぞ」と声掛けする。公園には様々な草木が育つ、花咲おば様が植えて下さるチューリップと黄色の山吹のコラボ。今年も見事でした。さて、次にひかえしは(か組)の火消し(おつとと) 止まれ、江戸時代に戻りそうだ? 通称「蒲三市民消防隊」月1回のスタンドパイプの操法訓練・C級ポンプ操法訓練に若者も参加。若者と言え、リサイクル活動も負けてはいない。幼稚園児から八十歳以上の方々が参加・町内清掃・リサイクル活動をしている。子供時代のボランティア活動を通じて世界へ羽ばたく日を夢見る。カーン・カンと拍子木を打ち、夜の町内を回るパトロール隊。町内の安心・安全を拍子木の音に今夜も託する。



通称「蒲三市民消防隊」



第1回連合会長・蒲田四町町長

小山 君子さん

今年四月に、長きにわたり続けてこられた保護司としての活動が評価され、藍綬褒章を受章されました。心からお慶び申し上げます。

中学校PTA会長の経験が評価され、平成三年に副会長兼婦人部長、平成十年町会長以後東地区連合会会長、大田区自治会連合会会長など多くの要職を歴任されています。

地域活動が趣味

今日まで活動を続けてこられた原動力は、人との触れ合いが生きる糧、つながりが広がってゆくの大好き、と笑顔でこたえる小山さん。ご自身では誰とでも上手にやっていますかと思っておりますが、感じたことをパツと言ってしまう、後に真意をフォローすることも。忙しいなかでも編み物教室



は続けています。生徒さんたちともよく話しかけて花を咲か

かせて楽しい時間です。地域の高層マンション増に伴い、個人情報に壁に阻まれるなど、心折れることも多くあります。

しかし、町会館建設という永年の願いがかなったこと、東日本大震災の翌日、各役員が自主的に集合し、手分けしてお年寄りの家々を訪ねて安否確認をしてくれたことなど嬉しかったことを数えたらきりがありません。

連合会を良くするため、特に共同行事の神社ご祭礼、まもりんピック防災運動会などの実施に向け、喧々諤々の議論を重ねます。座右の銘は「雨降って地固まる」。議論を尽くすことで、お互いの気持ちを分かち、絆がさらに深まります。出張所あればこそその連合。連携を密に地域力を高め、思いやりのある連合会として活動してまいります。

声かけは潤滑剤

地縁が薄れた現代社会だからこそ地域に果たす役割は大切。行動を通して若い世帯共々楽しく感じていただけるとお声かけやお誘いを続けて参ります。

昨年、市民消防隊に新会員を迎えるなど、若い人が活躍しています。今後、私どもは高齢者を応援するため、町会館を憩いの場として活用すべく努めて参ります。



変わる前に見ておきたい 梅屋敷公園

梅屋敷駅から第一京浜沿いにある聖蹟梅屋敷公園は、江戸時代から梅の名所として知られていました。文政の初め(一八二〇年頃)、旅の常備薬「和中散(食あたりや暑気あたりに効く)」を北蒲田村の忠左衛門という商人がこの地で売ったのが始まりで、息子の久三郎が庭園を造成し、そこに梅の銘木を集めて東海道を往来する旅人を相手に休み茶屋を開いたのが「梅屋敷」の地名の由来です。現在の公園は第一京浜の拡幅工事によって、敷地が減少します。区都市基盤整備部にお聞きしたところ、公園の敷地幅は現在の半分程度になるようです。

計画のコンセプトは「江戸情緒が感じられる梅屋敷の再現と和風モダン庭園の整備」とのことでした。具体的なものは未定ですが、広重が描いた梅林の再現・・・「西の池上梅園」・・・「東の梅屋敷公園」と両梅園が対をなす整備◆記念碑等の文化財の保全◆モダンな和風庭園へのリニューアル◆誰もが使いやすいユニバーサルデザインの導入◆既存公園資材等の利活用◆大田区総合体育館及び東蒲田公園との連携等が有ることです。再整備された梅屋敷公園に期待すると共に、現在の姿もしっかりと見とおきましょう。



町の安全安心 住警器があなたを守る

火災発生を素早く知らせ命を守るのが、皆さんのお家にも設置されている住警器(住宅用火災警報器)です。蒲田東地区では五件発生しましたが、いづれも発見が早く、ぼや程度で消し止められています。

東蒲田では、深夜寝ていた男性が警報音で目を覚ますと、室内は煙が充満していました。幸い床を若干焦がす程度で済みましたが、住警器が無ければ命にかかわったかもしれせん。住警器は、平成十六年から設置が義務化されました。当時、東京消防庁管内では住宅火災が約三千七百件ありましたが、平成二十九年は二千八百件で二十四パーセントも減っています。住警器は安全安心に必要なものです。

きれいな町は、犯罪抑止や明るい環境を作り出す。ある日の通勤路上、掃除をする蒲田東町町会会長の柳 豊純さんにお会いしました。聞くと、毎月第二水曜日に町会内をまわり、ごみを取り除いているそうです。二十年以上も続けているこの



電池切れに「用心

最近、消防署に「住警器から、ピッ・ピッ」という音が聞こえるんです」という問合せが寄せられます。これは電池切れを知らせる合図です。(音声で知らせるものもある)。早くから設置されているものでは、十数年が経過してしまいます。いざという時に、電池が切れていると、危険を知らせることができません。もしも電池が切れているようなら、早く新しいものに交換をお願いします。詳しくは取扱説明書をご覧ください。



住警器は、我が家の必需品

取り組み、すばらしいです。地域の光っている方、募集中。心当たりがある方は蒲田東特別出張所にお知らせください。

